千葉市生涯学習情報誌

ちばまなびの森

ご自由にお持ちください

皆さまの日々の生涯学習にご活用ください。

vol.3

平成24年３月発行

2ページ 地域学特集1 「地域学」ちば学のすゝめ

3ページ 地域学特集2 千葉市生涯学習センターで「ちば」を学ぶ

4・5ページ 地域学特集3 千葉市生涯学習センター主催講座 ちばカレッジ

6・7ページ 千葉市科学フェスタ2011

8ページ 千葉市生涯学習センター・中央図書館 開館10周年 まなびフェスタ2011を開催

地域学 特集 1

ちば学のすゝめ

ちば

に生きている私たちは、足元の〝ちば〟についてどれくらい知っているでしょうか。
の歴史・文化・観光・産業・風物、現代の私たちを取り巻く〝ちば〟のすべてを、
に住む〝ちば人〟として学んでみませんか。
を知ることは、これからの新しい〝ちば〟の創造へのきっかけともなることでしょう。

皆さまにとっての〝ちば学〟への参考として、
現在の千葉市内で実施されている〝ちば学〟の窓口や事業の一部をご紹介します。

体験する

「土器づくりの会」、「郷土史講座」※1、「歴史散歩」、「鎧やむかしの着物の着用体験」など教育普及事業を行っています。※2

ちばの暮らしを体験する講座を各公民館などで行っています。※3

問合せ
※1 加曽利貝塚博物館 ☎231−0129
※2 郷土博物館 ☎222−8231
※3 生涯学習振興課社会教育係 ☎245−5954

ちばを 学ぶ 感じる 創る

ちば学への いざない

いまを知る

工場見学や企業見学、現代的課題に関する講座をとおして、地域学の推進事業を行っています。

問合せ
生涯学習センター ☎207−5820

歴史を学ぶ

「ゆかりの家・いなげ」の公開などの文化財管理事業※1、
「市史研究講座」などの市史編さん事業を行っています※2。

問合せ
※1 生涯学習振興課文化財保護室 ☎245−5962
※2 郷土博物館 ☎222−8231

ちばカレッジと千葉の地域学特集の展示を開催します！

地域学展示

4/14(土)～5/20(日) 9:00～21:00
会場／生涯学習センター1階アトリウムガーデン

展示協力機関
千葉市美術館、千葉市中央図書館、加曽利貝塚博物館、郷土博物館、埋蔵文化財調査センター、等

千葉市図書館　地域・行政資料コーナー

千葉市・千葉県および県内他市町村に関する資料や、
千葉市・千葉県が発行する行政資料もそろえています。

ちばについて調べるには？？

たとえば…
- 千葉県内人口を調べるための資料はありますか？
- 千葉県内の絶滅危惧種に関する資料はありますか？
- 大賀ハスを発見した当時の資料はありますか？

蔵書検索システムhttp://www.library.city.chiba.jp/
の他、お気軽に図書館カウンターの職員までお尋ねください。
電話・メールでのお問合せも受け付けています。

問合先
詳しくは中央図書館2階地域資料コーナー、
または各地区図書館・分館まで
中央図書館　043-287-3980

地域学 特集 2

千葉市生涯学習センターで「ちば」を学ぶ

千葉市生涯学習センターでの事業をご紹介します。
子どもから大人まで幅広い年代の方々に楽しんでいただける講座・イベントを実施しています。様々なジャンルの「ちば」を知っていただける内容になっています。
地域学（ちば学）推進事業と全10回の連続講座「ちばカレッジ」をご紹介します。

千葉市ものしり検定

平成23年8月4、8、9、10日の4日間市内の小学3年生から中学3年生が集まりました。2日間、千葉市のことを一生懸命勉強して、3日目に千葉市ものしり検定にチャレンジ！問題は100問あり、大人でも答えられないような難問もありました。がんばって勉強した成果もあり、たくさんの子が上級の認定証をもらっていました。

企画運営協力　NPO法人郷土ちばに学び親しむ会

千葉市遺跡学講座

平成23年9月15、22、29日の3日間市内の遺跡についての説明や埋蔵文化財調査センターでの現地研修など充実した内容でした。実際に出土した土器を使って、年代の古い順に並べ替えるクイズはみなさん熱中していました。

大人のための社会科見学

平成23年10月24日、蘇我近辺から見える製鉄所。気にはなっても中に入って見ることはなかなかできません。今回はJFEスチール株式会社東日本製鉄所の工場を見学させていただきました。赤く熱した鉄の塊が工場内を移動するたびに、工場内が熱気に包まれました。

千葉市のふれあい子どもかるたで遊ぼう

平成24年1月15日、千葉市内のお祭り、施設、自然などをテーマにした「千葉市のふれあい子どもかるた」ができました。なんとこのカルタは、市内の小学生がデザインしたものなんです。生涯学習センターのアトリウムガーデンを使って、みんなでカルタ大会をしました。遊びながら、千葉市のことをいっぱい知ることができました。

企画運営協力　ちば・こくごふれあいの会

地域学 特集 3

千葉市生涯学習センター主催講座

ちばカレッジ

佐原編

平成23年9月27日

観福寺
国指定重要文化財の釈迦如来・十一面観世音菩薩・地蔵菩薩・薬師如来の金銅製懸仏の４体は、鎌倉時代の秀作です。

伊能忠敬に学ぶ、第二の人生

ちばカレッジ「ちばに生きる」現地研修を開催

平成23年5月から開催されてきたちばカレッジ「ちばに生きる」は、千葉市を中心にした地域の生活文化の特徴を「街・地域」、「食・住」、「祭・信仰」等から探求することを目的とした講座。

当初６月に予定されていた現地研修は震災の影響で９月の実施となり、さらに関東を直撃した台風の影響で1週間延期となりましたが、待ちに待った甲斐があり、当日は秋空の広がる好天に恵まれ、絶好の研修日和となりました。

小野川

樋橋の落水（通称　ジャージャー橋）

受講者は集合後、さっそくバスで一路、香取市佐原へ。車中で改めて参加者同士の自己紹介を行ううち、早くも目的地に到着。今日の講師を務めていただくNPO法人 小野川と佐原の町並みを考える会 副理事長で郷土史家の吉田昌司さんと合流。日本三大厄除大師のひとつ・観福寺で伊能忠敬墓や宝物殿の国指定重要文化財・釈迦如来・十一面観世音菩薩・地蔵菩薩・薬師如来の金銅製懸仏を見学しました。

佐原の祭りにかかせない山車を展示した水郷佐原山車会館で実物を間近に見た後は、重要伝統的建造物群保存地区で古い町並み巡り。震災被害で屋根にシートが張られた伝統的な家屋が、実は地震による倒壊を避けるため、自ら屋根瓦を落とす構造となっていたことなど、歴史と先人の知恵を学びながら歩を進めました。

伊能忠敬旧宅　国指定史跡

午後は伊能忠敬記念館と伊能忠敬の旧宅を見学。50歳を超えて、第二の人生で全国を測量し、大日本沿海輿地全図を完成させた事績を学んだ後、地酒の酒造見学を経て帰途につきました。

何度か佐原を訪れたことのある受講者も、詳しい説明を受けながらの現地研修で歴史と伝統を再認識することができたと好評でした。

三菱銀行佐原支店旧本館
大正３年建築　千葉県指定有形文化財
イギリスより直輸入した煉瓦を使った２階建ての洋館です。屋根は木骨銅板葺きで、正面建物隅にドームを設けています

正上醤油店
天保３年建築
千葉県指定有形文化財
江戸時代より醤油の醸造をしていた店で、現在は佃煮の製造販売をしています。当時の建築様式がそのまま残っています。

酒蔵見学

当日スケジュール

8 :30	生涯学習センター前出発
9 :45	佐原到着。講師の吉田昌司さんと合流
9 :55	観福寺見学
10 :30	水郷佐原山車会館見学
11 :20	重要伝統的建造物群保存地区（本宿／正上醤油店）で古い町並みを見学
12 :00	昼食・休憩
13 :00	伊能忠敬記念館・旧宅見学
14 :00	重要伝統的建造物群保存地区（新宿／福新呉服店）で古い町並みを見学
14 :30	酒造見学
15 :05	佐原出発
16 :15	生涯学習センター前で解散

受講生　戸村 順子（とむら よりこ）さん
実地の研修は座学と違い、みんな楽しそう（笑）。実際に現地を歩くことで、いまに息づく歴史を身近に感じることができました。

受講生　武山 忠孝（たけやま ただたか）さん
隠居後、勉強して偉業を成し遂げた伊能忠敬に感動し、息子を忠敬（ただひろ）と名付けました（笑）。私自身、第二の人生で伊能忠敬にならい何かをできればと思っています。

受講生　栢野 達男（かやの たつお）さん
以前にも佐原を訪れたことがありますが、講師の方に説明を受けながら歩くと、まったく違う街の姿が見えてくるようです。日本三大厄除大師が佐原にあることを今回はじめて知りました。

講師　吉田昌司（よしだ しょうじ）さん
歴史と伝統のまち・佐原を訪れた皆さんに、歴史・文化を大切にする私たちの思いを知って頂ければ幸いです。とうか、皆さんも伊能忠敬のように第二の人生に生き甲斐を持って歩んでいってください。

Chiba College

もっとディープな“ちば”を学ぶ

ちばカレッジ スタイル

ちばカレッジは年度ごとに学習テーマを設け、そのテーマに沿った内容で講座（全10回）を開催します。その後、各自でレポートの執筆や編集作業を行い、1冊の記録集を作るという学習スタイルとなっています。

ちばカレッジの講座は、講座を中心とした「知識型学習」、実地調査や実技など体験をともなう「体験型学習」、そして、それらの学習成果を活かして新たな学習活動を創造し、周囲の人々の学びを支援する「創造型学習」の、大きく３つに分かれて構成されているのが、大きな特長といえます。

過去には、「常胤と頼朝」「文人墨客ゆかりの地」「東京湾」など、歴史、文化、自然など様々な視点から学習テーマを取り上げ、受講生の皆様に郷土千葉への理解を深めていただきました。

突然！ちば学クイズ

千葉市ものしり検定で実際に出題された問題です。

Q1 花見川区の武石町では、「幕張にんじん」づくりがさかんで、日本各地に出荷しています。「幕張にんじん」の収穫の時期はいつでしょうか。
①8月　②10月　③5月　④3月

Q2 千葉市が接している市町村はいくつありますか？
①6市町村　②7市町村　③8市町村　④9市町村

Q3 千葉モノレールのみつわ台駅の近くに「廿五里」という地域がありますが、これは何と読むのでしょうか？
①にじゅうごり　②つうへいじ　③にごり　④ついへいじ

答えは5ページ下段

ちばカレッジ2012開催予告！

文化や歴史の特徴と豊かな生活

ちばに生きる
～街・食・祭からのヒント～
6/6（水）～10/31（水）
水曜日／全10回／9:30～12:00
（「佐原」他の現地研修を除く）

生活環境の向上と努力や工夫

ちばに学ぶ
～水環境と生活～
6/13（水）～11/7（水）
水曜日／全10回／9:30～12:00
（「ちばのダム」他の現地研修を除く）

■受講料／各6,000円　※現地研修は入館料などの実費負担あり
■定員／各30人

詳細は、市政だよりや同センターのホームページ、講座・イベント情報の4･5月号でお知らせします。

問合先
千葉市生涯学習センター　講座企画担当
〒260-0045　千葉市中央区弁天3-7-7
TEL043-207-5820　FAX043-207-5822
ホームページ　http://chiba-gakushu.jp/

突然！ちば学クイズの答え　Q1 ③5月　Q2 ④9市町村　Q3 ②つうへいじ

これからの私たち 千葉市 科学フェスタ 2011 現在のあなたから未来のあなたへ

千葉市 科学フェスタ2011

千葉市は、千葉市科学都市戦略に基づき、市民が日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる総合的な科学の祭典として、「千葉市科学フェスタ２０１１」を昨年の秋に開催しました。

市内各所で、こどもから大人まで、気軽に科学・技術に触れることができるイベントがたくさん行われ、多くの来場者が科学に親しみました。

ロボカップ2011 イスタンブール世界大会入賞者 ＴｅａｍＫＵＲＵ－ＭＩＲＡによる発表とデモンストレーション

オープニングイベント

■日時 平成23年10月１日(土) 14：00～16：00
■会場 生涯学習センター　ホール

千葉市生涯学習センターのホールを会場に、オープニングイベントを実施しました。
市長による科学フェスタのオープニング宣言、宇宙飛行士・千葉市科学アドバイザー 山崎直子さんのビデオメッセージの後、大髙科学館館長をコーディネーターとし、大槻義彦早稲田大学名誉教授、熊谷市長、志村教育長の３名によるパネルディスカッションを行いました。

メインイベント

■日時 平成23年10月８日(土)～10日(月・祝)
■会場 きぼーる広場、アトリウム２・３階、子ども交流館アリーナ、ビジネス支援センター会議室

きぼーる内の各施設を会場に、シンボル展示、サイエンスカフェ、実験・体験教室、出展ブース、科学クラブ研究発表会など、様々なイベントを行いました。

シンボル展示・実演

「復興」と「科学の日常化」を象徴するシンボル展示や、放射線とエネルギーに関するパネル展示、ロボカップ2011イスタンブール世界大会入賞者のデモンストレーションや女性をターゲットにした実演を行いました。

放射線とエネルギーに関するパネル展示

建物を解体するときに使う機械
「油圧式アタッチメント」
提供：株式会社坂戸工作所

緊急災害対応ロボット
千葉工業大学等が開発した福島第一原子力発電所に投入した緊急災害対応ロボットのプロトタイプ。共同開発：千葉工業大学、東北大学、国際レスキューシステム研究機構

実験・体験教室

実験・体験教室では、羊毛工作やレゴ ロボット教室、放射線の性質や特徴を調べる教室など、じっくり取り組むプログラムを実施しました。

「よくわかる放射線教室」
放射線の観察ができる霧箱の工作も行いました
講師：舟生武司氏
（大阪科学技術センター）

サイエンスカフェ

サイエンスカフェでは、お茶やお菓子を片手に、地震と防災の科学について、講師を交えて気軽に語り合いました。年齢を問わず、様々な人が参加しました。

地震学研究 最前線「地震の予測はどこまで可能かー過去を知って将来に備えるー」
講師：宍倉正展氏
（産業技術総合研究所）

出展ブース

企業、大学研究機関、市民団体など28団体が、実験・工作・サイエンスショー、企業の製品のしくみや技術紹介、電子顕微鏡の操作体験などのブースを出展しました。

色々なブースで科学のふしぎを体験

電子顕微鏡操作体験
科学館のボランティアさんが手順を説明

「少しだけ触れてみよう！ロボットの世界」
（千葉工業大学工学部未来ロボティクス学科　中嶋秀朗研究室）

「歯科をカガクする」
（デンタルサポート株式会社　医療法人社団郁栄会寒竹歯科医院）

科学クラブ研究発表会

市立中学校および県内高等学校の科学クラブに所属する生徒が、日頃の研究成果を発表しました。参加者から活発な意見が出されました。

「科学クラブ研究発表会」で研究成果を発表する生徒の皆さん

グランドフィナーレ

■日時 平成23年10月29日(土) 14:00～16:00
■会場 生涯学習センター　ホール

北澤宏一氏による講演

グランドフィナーレでは、独立行政法人科学技術振興機構 顧問 北澤宏一氏による講演と、メインイベントの様子を記録したビデオ「未来のわたしへのメッセージ」を上映しました。

サテライトイベント

９月～12月にかけて、関係機関や企業、大学、団体などが、図書館や公民館、大学などの市内各所で、科学・技術に関するイベントを実施しました。

ウィンドパワー
効率よく発電するための風車を考えているところです。

トライサイエンス
音の伝わりを実験しています。音が空気を震わすことで、ラップの上の塩が跳ねています。

～市内で実施する科学・技術関連イベント・関連団体の告知～
千葉市科学フェスタwebサイト　http://www.chibashi-science-festa.com/

千葉市生涯学習センター・中央図書館 開館10周年
まなびフェスタ2011を開催

昨年12月３日㈯・４日㈰の２日間、「開館10周年『まなびフェスタ2011』」が開催されました。

平成23年４月に千葉市生涯学習センター・中央図書館の開館から10年を迎えた今回は、これまでの活動を支えて頂いた方々を表彰する10周年功労者感謝状贈呈式や子どもの読書活動推進を目的としたトークショーのほか、公募団体による講座や体験教室、コンサート、映画上映など、子どもから大人まで参加できる約70のイベントが行われ、多くの参加者でにぎわいました。

千葉さんしん同好会

千葉フルート愛好会

折紙体験

ゴールデンサンタパンを
パン工場で作ろう！

墨絵で遊ぼう！
展示＆体験

かんたん手作りシルバー
アクセサリー体験教室

子ども読書活動推進トークショー

アイドルとして歌にドラマに活躍し、その後結婚・出産を経て、現在は７児の母としてタレントと主婦業を両立させている堀ちえみさんに、自らの読書経験や子どもたちとの読書活動について語っていただきました。

千葉市中央図書館・生涯学習センター 10周年功労者感謝状贈呈式

生涯学習センターの事業を支えていただいた施設ボランティア（まなびサポーター）や図書館で様々な活動を展開している団体に対して感謝状が贈られました。

千葉市生涯学習情報誌
ちばまなびの森 vol.3
平成24年３月発行

●編集・発行
千葉市生涯学習センター（指定管理者：千葉市教育振興財団グループ）
http://www.chiba-gakushu.jp/
〒260-0045　千葉市中央区弁天3-7-7
Tel.043-207-5811（代）Fax.043-207-5812
千葉市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課
〒260-8730　千葉市中央区問屋町1-35　千葉ポートサイドタワー11F
Tel. 043-245-5957　Fax. 043-245-5992

千葉市生涯学習情報提供サービス　ちばまなびネット　http://chiba.manabi365.net/　講座や教室、イベント情報などを検索することができます。

ちばまなびの森は７月・11月・３月の年３回発行です。次号vol.4は平成24年７月発行です。